

港区立三田中学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	漢字の書き取り問題、および読み取り問題について正答率が高いとはいえない状況にある。区学力調査では、校内正答率が多く観点で全国正答率を上回ったものの、記述問題や文法問題、「メモをもとに手紙を書く」問題については脆弱な面がないと言い難い。「書く能力」、「言語に関する知識・理解・技能」に課題が見受けられ、今後改善の余地があると言える。また「国語への関心・意欲・態度」についても今後向上を目指していく。
社会	すべての領域・観点で全国平均正答率を上回るか、同率に近い正答率を全学年で示していた。したがって、基礎的な学習内容に関する学力は定着しつつあると言える。ただ、3年生の活用のカテゴリーは、目標値は上回っているが、全国・区の平均正答率よりは若干下回っており、課題と言える。活用の学習は全学年で重視し、積み重ねる必要があるカテゴリーであることから、資料の活用に重点を置いたワークシートや授業改善に取り組んでいくことが教科としての課題と言える。
数学	全ての領域・観点で全国平均正答率を上回っており、基礎的な内容は定着しているといえる。しかし、区平均正答率では領域別では「図形」、観点別では「関心・意欲・態度」「見方や考え方」において、下回っているのが現状である。「技能」の部分では、毎回の授業で小テストや確認のプリントを実施している成果もあり、区・全国ともに平均を高く上回っている。今後は、「関心・意欲・態度」「見方や考え方」の部分を伸ばしていく必要があるため、生徒にとって魅力のある教材や考えさせる授業の展開を行う必要がある。
理科	2学年及び3学年において、すべての観点と、基礎・活用の分類に関しても全国・区平均正答率を上回っており、バランスの良い学力の定着が見られる。1年生に関しては、小学校において観察・実験の技能は定着しているが、実技の体験がその他の観点の定着にうまく結びついていない。また、領域別の単元では、どの学年もエネルギー分野の正答率が区・全国を下回っている。身近な科学事象と、授業の内容を結び付けたり、アクティブラーニングの授業形態により、興味・関心を持たせながら授業を進めていきたい。
外国語	2学年及び3学年において、全ての領域・観点で全国平均正答率を上回っており、基礎的な英語力は身につけていると言える。領域別でも、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」全てにおいて全国及び区平均を上回っている。観点別では、特に言語や文化についての知識・理解が身につけている一方、表現及び理解では、区平均を下回る学年もある。基本的な語句や文法を用いた問題については難なくこなす生徒が多い反面、自由英作文など知識を活用する場面では、対応に難のある者も見られる。会話のやりとり等の練習で表現力を身につけていきたい。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	「書く能力」、「言語に関する知識・理解・技能」の二つの領域について、育成を目指す。また国語への学習意欲が向上するように授業では促したい。	「書く能力」「言語に関する知識・理解・技能」の二つの領域について、学力を向上させるために作文指導を行う。文法的な正確さや原稿用紙の使い方、漢字の誤字脱字への注意はもとより、わかりやすい文章や読みやすい文章、聞きやすい文章について教えることに努める。またグループワークや聞き取りテストを取り入れるなどして、メモの取り方やメモの活用法を指導し、国語の能力の向上に努める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」の特に技能に関する資質・能力の育成。	「主体的、対話的で、深い学び」の具現化を通して、思考力・判断力・表現力及び技能の力の育成を図る。そのために「12の学習活動」を視点に授業改善を行い、単元ごとに課題学習や生徒の授業への意識や学習活動に関するアンケートを行い、生徒の資質・能力の育成に結び付ける。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	「図形」の領域で「関心・意欲・態度」、「見方や考え方」の二つの観点の育成を目指す。生徒が興味を持って考える授業を展開していきたい。	全領域において、生徒が興味を持つための授業改善が必要である。そのために ICT 機器を利用したり、教材を工夫したりすることで生徒に興味・関心を持たせる。その中で生徒自身が自ら考え、深く学ぶような授業展開をする。グループワークや教え合い学習を通して、生徒の主体性の向上に努める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	「思考力・判断力・表現力」の育成を重点項目とし、個々の個性を生かしつつ、学んだことを生かして主体的に生活に生かしていく姿勢を育む。	全単元において、目的意識を明確にした観察・実験などの体験活動の機会を多く作り、この体験活動の結果を丁寧に扱う。結果の共通点・相違点から考察を導き出す過程において、アクティブラーニングを意図的に組み入れ、情報を他と共有させることにより、新たな発見や問題点を見出させ、今後のより良い生活へとつなげる一助とする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	「知識・技能」の確実な習得とともに、「思考力・判断力・表現力」の育成を、様々な体験活動を通して目指していく。	多様な音楽に触れる機会や、生の演奏を聴く機会を設定し、音楽への興味関心を高めていく。また、思いや意図を持って音楽表現を創意工夫する力を育てるために、協働的な学習場面を増やし、表現力を高めていく。各分野を関連させながら音楽の諸要素の理解を深め、構造的に音楽をとらえ表現・鑑賞できるよう、生徒の資質・能力の育成を目指す。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	・造形的な見方、感じ方を深め、創造的に表現する能力の育成。 ・豊かに発想し、構想を練って主体的に表現する能力の育成。	・作品鑑賞の機会を増やし、作者の心情への理解を深めたり、社会や生活との美術の関わりについて興味を持たせる。 ・プリントやアイデアスケッチを用いて「知識・技能」「発想・構想の能力」の育成を図る。自らの制作意図を考えたり、グループでの話し合いや説明文を作成することで主題を明確にし、表現につなげていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」の資質・能力の育成にも重点を置く。	運動時間を確保しながら、各単元において、グループ活動を積極的に取り入れ、生徒が主体的に学び合う時間を確保することで「思考力・判断力・表現力」の育成を図ると同時に「知識・技能」の向上も目指す。また、その中で、リーダーとなれる生徒を育成することと個に応じた指導の両立を図る。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	実習に基づいた「知識・技能」の育成と「主体的に学習に取り組む力」の育成を目指す。	生徒間での情報交換や、題材と結びつきのある教科と連携が取れる授業を行う。また、生活との関連を意識した課題で振り返りを行い、学習事項と実生活との結びつきを意識させる。ものづくりや作業では机間指導を行い、すぐに質問できる態勢を整え作業進度に応じた指導を行う。進度の速い生徒には応用の課題を設ける。作品や学習成果を発表する場を設け、個人の作品に対する愛着を深める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
外国語（英語・国際）	「読むこと」「話すこと」から「書くこと」につながる技能横断的な学習活動を増やすことで、特に表現の能力の向上を目指す。	全学年・全クラスで行っている会話（やりとり）の学習活動を継続し、相手の発話に対して相づちや質問を加えることで会話を続ける工夫をし、まとまりある対話ができるようにする。話した内容を振り返り、与えられたトピックについて3文以上のまとまりある英文で書けるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	道徳的信条を豊かにし、道徳的判断力を高め、道徳的实践力を高めるとともに、生徒一人一人の内面に根ざした道徳性を育てる。	「特別の教科道徳」の全面実施に伴い次の事項を重点化。 ・より一層の道徳科の時間の確保 ・道徳科の授業で活用された資料等の生徒個々によるファイリングの充実（学習の積み重ねの可視化）。 ・生徒自身による道徳科の全授業の振り返りの記録化。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	実社会を生きていくうえで必要な能力、すなわち社会に貢献する能力、社会の中で自己を生きる能力、人間関係を形成させる能力の育成を目指す。	左記の能力の育成について、学級活動や委員会活動、生徒会活動、学校行事など学校における様々な取り組みにおいて、その育成を目指す。他者との協働、周囲への寛容な心情と振る舞い、言葉遣いをこれらの活動を通して涵養することに努める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	課題解決、情報収集、情報活用、コミュニケーション、自己表現の各能力を高める。自己理解・自己管理能力の育成として自己の役割を理解し、忍耐力を高める。	様々な学校行事・学年行事等における取り組みの中で、自ら考え、自主的に行動できる自立した生徒の育成を目指す。 ・調べ学習による情報収集・処理能力・発表する能力の育成 ・トレーニングによる自己表現力・コミュニケーション能力の育成 ・ポートフォリオ評価（活動記録等のファイリング）